

SSK 銀鈴増刊

ぎんれいだより

H 27 年 春 号

編集: 公益社団法人 銀鈴会

東京都港区新橋 5-7-13

ビュロー新橋 901

Tel : 03-3436-1820

1971 年 6 月 17 日 第 3 種郵便物認可

(毎月 6 回 5 の日・0 の日発行)

SSK 銀鈴臨時増刊 ぎんれいだより

NO.1 2015 年 4 月 1 日発行

増刊通巻第 4563 号 定価 50 円

発行: 障害者団体定期刊行物協会

東京都世田谷区砧 6-26-21

「ぎんれいだより」発行にあたって

(公社) 銀鈴会会長 松山雅則

銀鈴会は喉頭、咽頭、甲状腺、食道などの腫瘍のため、声帯を摘出し声を失った人達が食道発声、電気式人工喉頭(EL)発声、シャント手術による発声の代替音声の獲得をお手伝いするボランティア団体です。東京を中心に約 1100 名の会員がお互いに助け合い、年間百数回の発声訓練を通して、幸せな生活と社会参画の実現を目指して頑張っています。

当会は昭和 29 年に創立され、大切なコミュニケーション手段である声を失ってしまった我々は先に声を失った先輩喉摘者が新人喉摘者に発声を指導するというピアサポートを 60 年に亘って続けてまいりました。手術直後の喉摘者が入会して、お互いに支え合い励まし合いながら発声練習に励み、失意と不安から立ち上がり、や

がてスピーチが出来るまでに上達していく姿には感動を覚えます。

公的支援は少なく自らの努力を前提に皆様から会費やご寄付の支援をお願いしてまいりましたが、銀鈴会創立 60 周年を機に今後の銀鈴会の充実と安定発展をはかるため、不特定多数の法人及び個人の方々からご支援いただく賛助会員制度をスタートさせていたいただくことに致しました。

創立者の「国や地域を問わず、一人でも多くの声を取り戻す」という理念をもつて今後も努力を続けます。賛助会員の皆様にはこの「ぎんれいだより」と従来からの銀鈴誌をもってご報告とさせていただきますので、何卒当会の趣旨にご理解を頂き、賛助会員としてお力添えいただきますようお願い申し上げます。



私達も銀鈴会を応援しています

(新しく応援メッセージをくださった皆様)

東京慈恵会医科大学附属柏病院 診療部長 清野洋一先生

日本頭頸部癌学会 理事長 林隆一先生

一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会 理事長 久育男先生

公益財団法人がん研究会有明病院 院長 門田守人先生

全日本相撲甚句協会 会長 山下晃生様

元衆議院議員 与謝野馨先生

(五十音順)



発声の準備運動

「みんなでがんを考えよう」
ラジオ文化放送キャンサーカフェ

平成 26 年 5 月 18 日放送

(公社) 銀鈴会の太田時夫専務理事がラジオ文化放送に出演されました。日本人の 2 人に 1 人は罹るという、がんについて患者さんご自身やご家族の方々はもちろん、がんとは無縁だと思っていられしやる皆さんにもお聞きいただいて、がんをテーマに語り合う「みんなががんを考えよう」という番組です。

メイン・パーソナリティーを務める(公財)がん研究会有明病院の門田守人院長が番組の冒頭で、「病院でピアサポートのいろんなプログラムの情報交換会があつて太田さんの話を聞いた時に『えっ、こんな普通の会話が出来るの』って本当に驚き、チャンスがあつたら是非番組に出ていただきたいと出演をお願いした」とおっしゃっていました。

がんを告知された時の衝撃や、食道発声のユツ、銀鈴会の様々な活動などがん患者の視点から幅広い体験をお話しされました。



<http://www.joqr.co.jp/cacai/2014/>

銀鈴会創立 60 周年記念行事



ピンゴゲームを楽しむ祝賀会

60 周年記念祝賀会

平成 26 年 9 月 20 日（土）「創立 60 周年記念式典」が、五反田のホテルゆうぽうとにおいて、来賓、会員 190 名出席のもと盛大に挙行されました。会長挨拶、ご来賓の方々の祝辞、功労者の方々の表彰式の後、脚本家のジェームス三木先生の記念講演「爆笑人生論」に続き、祝宴が開かれピンゴゲームやカラオケを楽しみ式典をつがなく終了致しました。

後援ありがとうございました

厚生労働省

東京都

公益財団法人ヤマト福祉財団

公益財団法人損保ジャパン記念財団

公益財団法人日本チャリティ協会

社会福祉法人かがやき会

社会福祉法人NHK厚生文化事業団

公益財団法人日本財団

株式会社第一興商

ニチハ株式会社

アトスメディカル名優株式会社

（敬称略）

「銀鈴会創立 60 周年」「日本喉摘者団体連合会発声訓練士資格認定」記念
平成 25 年 11 月 20 日 NPO 法人日本喉摘者団体連合会と公益社団法人銀鈴会の共催で、小春日和の穏やかな日に有楽町朝日ホールにて盛大に開催されました。

読んでくださった多数の方々が来場されました。会場のフリーアナウンサー（元 NHK）の高山久美子さんの司会により進行され審査の点数集計を待つ間には、全日本相撲甚句協会の「相撲甚句」と北島三郎音楽事務所の演歌歌手・小金沢昇司氏の「歌とお喋り」を楽しみました。

第 1 位の厚生労働大臣賞には田島義則氏に輝き、廣瀬審査委員長より、「ラストに出て『ラストダンス』を歌って賞をお取りになったという方ですが、軽妙な歌い方が絶妙で息つきやメロディーもきれいに表現しておられました」と、講評をいただきました。



銀鈴会表彰者

障害者週間

内閣府・厚生労働省・東京都

・平成 26 年 12 月 5 日

☆ 厚生労働大臣賞

坂上 昌平氏

《自らの障害を乗り越え
障害者の福祉事業に率
先して尽力》

・平成 26 年 12 月 3 日

☆ 東京都知事賞

秋元 洋一氏

《多年にわたり障害者
の福祉増進に貢献》

・平成 26 年 12 月 19 日

☆ 社会福祉法人
東京都社会福祉協議会賞

齊藤 康夫氏

関野 登志夫氏

《社会福祉事業に理解を
示し福祉の進展に寄与》

・平成 26 年 12 月 3 日

☆ 公益財団法人

日本チャリティ協会

大場 知恵子氏

《作文入選》

「私が失ったのは
声だけです」

第8回 全国喉摘者発声大会

平成 26 年 11 月 15 日（土）、第 8 回

全国喉摘者発声大会が、厚生労働省後援により、NPO 法人日喉連と公益社団法人銀鈴会の共催で東京都新宿区の東医健保会館にて開催されました。

開催に先立って、9 月から 10 月に亘って全国各ブロックで予選会が行われ、食道発声の部から 19 名、E L の部から 6 名の方々が決勝大会に進みました。

予選を勝ち抜いた大会とあって実力伯仲でしたが、厚生労働大臣賞を受賞した（公社）銀鈴会の竹内康子氏は、喉摘者とは思えないほど素晴らしい歌声とスピーチで聴衆を魅了しました。また、E L の部でもいずれ劣らぬ大接戦で、大阪市喉会の得田義信氏が優勝されました。



全国大会出場者記念撮影

平成 26 年度 遠隔地巡回指導報告

日本財団様の助成金により開催

◆茨城県茨城魅声会

・期間 平成 26・11・25～28
・参加者 齊藤ミツエ会長 他 21 名
派遣講師 銀鈴会松山雅則 他 2 名
茨城県は交通の便が悪く各会員は車で通う。家族も一緒に乗って来て親睦を深め、和気藹々とした和やかな教室であると言う。

◆鹿児島県鶴鈴会

・期間 平成 26・11・30～12・3
・参加者 宮永宣夫会長 他 20 名
派遣講師 銀鈴会新美典子 他 2 名
鹿児島県は離島が多く、また陸続きでも交通が不便で、発声訓練が出来ない会員が多く、2 年ぶりに指導を受けたという会員には E L を薦めた。

◆愛知県愛友会

・期間 平成 26・1・26～29
・参加者 石川勝己会長 他 29 名
派遣講師 銀鈴会秋元洋一 他 2 名
癖のある発声の聞き苦しさを説明して改善する指導ができた。しっかり空気を入れゆっくり話すことで聞きやすい声で話ができるようになるということを理解してもらった。

国連 NGO 喉頭摘出者団体アジア連盟 （AFLA）活動報告

ゆうちよ財団様の助成金により開催

ーインドー

◆インド チェンナイ

・期間 平成 26・1・30～2・11
・参加者 ・医師 Dr. マニ 他 63 名
派遣講師 銀鈴会松山雅則 他 3 名
合宿研修により、参加者は毎日 50 名を超えた。短い期間の多大な成果は、会員が、限られた日数のこの機会に懸命に練習をした結果と思われる。

◆フィリピン マニラ

・期間 平成 26・4・14～25
AFLA 総会及び発声指導研修
期間 平成 26・12・4～8
香港「新声会」30 周年記念式典及び発声指導研修



インド チェンナイの参加者

山形新聞「私の主張」

平成 27 年 12 月 23 日付

廣瀬 肇（銀鈴会常任顧問）

咽頭腫瘍手術で声帯を失い、機械（電気喉頭）を使う酒田市の本間正巳市長に対し、市議会の一部会派が市長への辞職勧告決議を検討するよう求めたという山形新聞の記事をインターネットで拝見しました。

要求の理由は声が聞き取り難く、市政への影響が懸念されるということなのですが、他会派は同意せず市議会として提案しないことを確認したというので、賢明な判断だったと思います。

腫瘍の手術後に、機械を用いてコミュニケーションを図るのは決して容易なことではなく、周囲の人間として「障害者が努力によって新しく獲得した声」を、注意深く聴き取る努力が障害者支援の基本となることを理解しなくてはならないと思います。

私は、「日本喉頭摘出者連合会」の顧問をしておりますが、今回のようなことは全国の手術によって喉頭を失った方々に対する一種の障害者差別とも解釈されるものです。市議会として提案されなかっただけでは済まされない内容と感じています。

（要約）

ご支援有難うございました

～会員及び賛助会員と特別にご寄付を頂いた法人及び個人の方々～

- ・ アシダ音響株式会社
- ・ アトスメディカル名優株式会社
- ・ 株式会社インターネットイニシアティブ
- ・ 有限会社エコプロセス
- ・ SMBC 日興証券株式会社
- ・ 社会福祉法人かがやき会
- ・ 鹿島建設株式会社
- ・ 三協立山株式会社
- ・ 住友林業株式会社
- ・ 関野運輸株式会社
- ・ 泉工医科貿易株式会社
- ・ 全日本相撲甚句協会
- ・ 綜研化学株式会社
- ・ 公益財団法人損保ジャパン記念財団
- ・ 第一医科株式会社
- ・ 株式会社大和証券グループ本社
- ・ 株式会社電制
- ・ 東京医科大学看護専門学校
- ・ 東京ガレージ株式会社
- ・ 南武建設株式会社
- ・ ニチハ株式会社
- ・ 日本ガレージサービス株式会社
- ・ 公益財団法人日本財団
- ・ 有限会社野沢正光建築工房
- ・ 株式会社ハーフ・センチュリー・モア
- ・ 橋本総業株式会社
- ・ 原田産業株式会社
- ・ 株式会社福祉施設共済会
- ・ 株式会社プロティア・ジャパン
- ・ 株式会社三井住友銀行
- ・ 三井住友カード株式会社
- ・ 株式会社明電舎
- ・ 株式会社名優
- ・ 山崎製パン株式会社
- ・ 公益財団法人ヤマト福祉財団
- ・ 一般財団法人ゆうちょ財団
- ・ 株式会社レーサム
- ・ 株式会社ロッテ (五十音順 敬称略)

秋元洋一、朝田禮一、飯島敏禎、池田美代、石川眞佐子、石田
 焜、石原文雄、市田治弥、I. N.、井上貴之、井上洋一郎、上
 田貞行、梅崎伸、江口仁、榎本節子、江原澄、江原里美、江原
 節子、大井卓雄、大篠文也、大貫栄二、大貫美智子、岡戸富美
 子、奥原修、笠木桃子、カトレア会、K. M.、川中伸啓、川鍋
 千枝子、神立喜三郎、菊池孝幸、木下勝男、久保力男、熊川喜
 代司、小林宏、K. A.、齋藤隆、左海省司、山後弘子、山後祐
 介、鹿内健悦、穴倉康雄、篠清市、篠奈津子、篠美登里、篠田
 乃武子、島田厚子、初心 A チーム、白川充彦、杉山喬、S. K.、
 鈴木正子、隅谷政紀、相馬麻衣子、高橋健二、高橋剛、高橋連、
 高橋久義、竹内康子、龍村道子、辻文子、栃木謙治、栃木芙美
 子、富山美佳、永井一男、中西昭雄、中西かよ子、中村明美、
 新美勝正、新美典子、西村恵三郎、長谷川峰子、馬場金五郎、
 馬場真人、半田建二、H. C.、F. T.、渕本義山、発知五平、
 増田正毅、松清平、松田幸雄、松山雅則、M. M.、三澤武雄、
 峯村文雄、三野武彦、宮本啓三、村上壮吉、村本高史、八木清
 文、矢代三江、安野智、山岸正央、山口春吉、山口平男、Y.
 S.、山寺勉、山室あい、山本勇、吉田美保子、脇田誠照、渡邊
 正雄、渡邊操、和田敦子、 (五十音順 敬称略)

賛助会員募集のお願い
 銀鈴会は、コミュニケ
 ーションに必要な声の習
 得をとおして、社会復帰、
 術後の管理ケアおよび会
 員相互の親睦をはかって
 います。当会の事業目的
 に賛同し、活動を支援し
 てくださる賛助会員を募
 集しています。
 多くの皆様からのご支
 援をもとにさらに充実し
 た活動を続けてまいりた
 いと存じます。
 お力添えくださいます
 よう心からお願い申し上
 げます。

申し込み等問い合わせ先

公益社団法人銀鈴会 事務局 高梨泰弘

〒105-0004 東京都港区新橋 5-7-13

ビュロー新橋 901

TEL : 03-3436-1820 FAX : 03-3436-3497

E-mail : office@ginreikai.or.jp

ホームページ : <http://www.ginreikai.or.jp>

年会費
 法人賛助会員 一口五千元 六口以上
 個人賛助会員 一口五千元 一口以上
 期間 四月～翌年の三月まで